

・雑がみ

・「雑がみ」とは、家庭から排出される古紙類のうち、新聞、雑誌、ダンボール、牛乳パックのいずれの区分にも入らない紙製品全般のこと。

雑がみの出し方

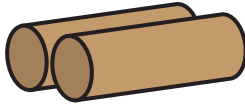
・雑がみを白い紙ひもで十字に縛り、束ねて出す。
または、雑誌などの間にはさみ、白い紙ひもで十字に縛って出す。



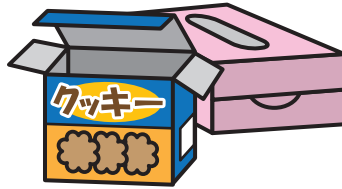
・持ち手部分が紙製の紙袋に入れて白い紙ひもで十字に縛って出す。



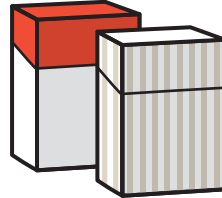
ごみの例



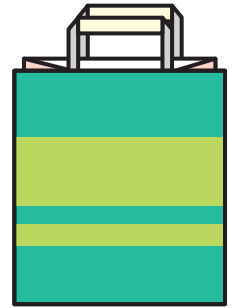
・トイレットペーパーやラップの芯
香りつきは「燃えるごみ」へ



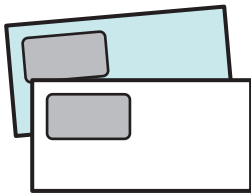
・ティッシュ・お菓子などの紙箱
ビニール部分は「燃えるごみ」へ



・タバコの外箱
フィルムは「プラスチック製容器包装」へ
内側の銀紙は「燃えるごみ」へ



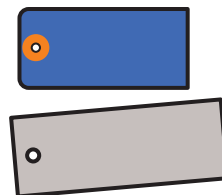
・紙袋・包装紙
手持ち部分が紙以外の場合は「燃えるごみ」へ



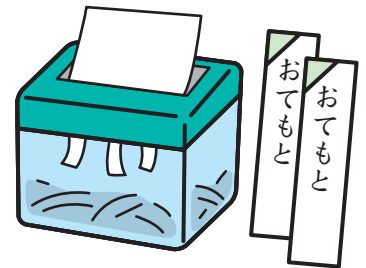
・窓付き封筒
紙以外の部分は「燃えるごみ」へ



・画用紙・ノート
油性ペンやクレヨンで描いたものは「燃えるごみ」へ



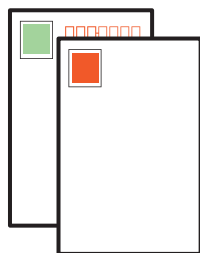
・洋服などのタグ
紙以外の部分は「燃えるごみ」へ



・シュレッダー、メモ用紙、割りばしの入れ物



・ダイレクトメール、チラシ



・紙製のはがき
切手は貼られたままでも可

・リサイクルできない紙

- 防水加工された紙(紙コップ、紙皿、油紙、ロウ紙など)
- カーボン紙、ノーカーボン紙(宅配便の複写伝票など)
- 圧着はがき(親展はがきなど、シールをめくり内容を見るタイプのもの)
- 写真用紙(※マット紙は雑がみでよい)、感光紙
- 感熱紙(ファックス用紙、レシートなど)
- 臭いのついた紙(石鹸の包装紙、線香や洗剤の箱など)
- 水に濡れた紙、油のついた紙、ティッシュペーパーなど

その他、プラスチックフィルムやアルミ箔などを張り合わせた複合素材の紙、感熱性発泡紙なども「雑がみ」ではありません。
粘着テープ類、ファイルの金具、金属クリップ類、ワッペン類は出さないでください。